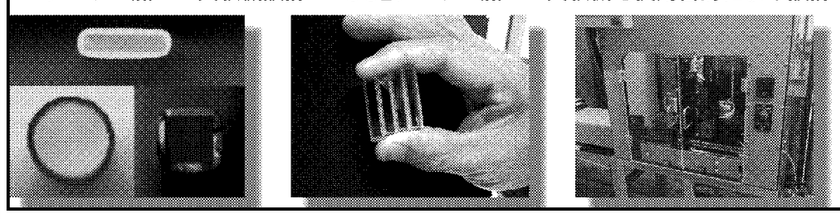
～サイエンティストと匠の技の融合～
40年以上の技術の蓄積と経験で、どんな問合せにもお答えします。

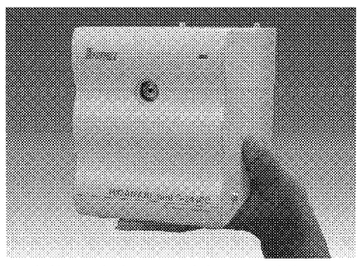
精密硝子の加工なら弊社にお任せください。

・ガラス加工（ ガス・研磨・真空成形・レーザー）各種硝子超精密加工、マイクロセル（100μmm～形状各種）加工
・樹脂レーザー溶着…数十μm樹脂フィルム同士の溶着
・レーザー加工・実験機設計 … CO_2レーザー加工・実験機を使用目的により設計



株式会社 鬼塚硝子
〒198-0023 東京都青梅市今井3-9-18
phone:0428-31-4305㈹
fax: 0428-31-3392㈹
http://www.onizca.co.jp/
ONIZCA

Soma
太陽分光放射計“ひだまりmini シリーズ”
（Sun Spectroradiometer）
S-2440C、S-2441C、S-2442C



本体 90(W)×170(D)×110(H)mm

●太陽光やソーラシミュレータからの放射波長に合わせて感度特性を最適化
●測定波長範囲　300～1100nm
　シリコン系、色素増感、有機薄膜太陽電池の波長範囲をカバー
●ソーラシミュレータ（定常光、パルス光）のスペクトル合致度判定機能
●入射光学系には、コサイン特性に優れた“反射型拡散板”を採用
●迷光の少ない光学マウント
●小型・軽量・低価格

株式会社相馬光学　〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井23-6
TEL：042-597-3256　FAX：042-597-3208
http://www.somaopt.co.jp

ダイシング加工　検索

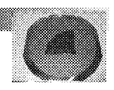
特殊素材の切断なら…

削る ▶ 磨く ▶ 切る ▶ 詰める ▶ 見る

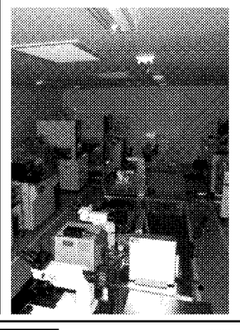
素材種類
・SiC ・サファイア ・ガラス
・セラミック ・ポリイミド基板 など

試作ルーム完成！ ラインを貸出致します。

サンテックの加工技術紹介
◯特殊素材への量産対応
SiC・サファイアダイシング：
次世代デバイスに対応した硬い・脆い難削材の研磨／切断
ガラス・フィルムダイシング：
携帯電話やデジタルカメラに搭載するカメラモジュール用カバーガラスの切断
◯次世代製品に対応した加工技術
□マルチチップウエハのダイシング加工
□自社開発のBG加工技術は1チップからの加工、また個片ウエハの加工にも対応しています。



□水や異物、フラット基板に対応した保護テープを用いてダイシング。切断後に加熱することで、簡単に剥離。試作から中量産に対応。
（平成21年度ものづくり研究開発事業採択）

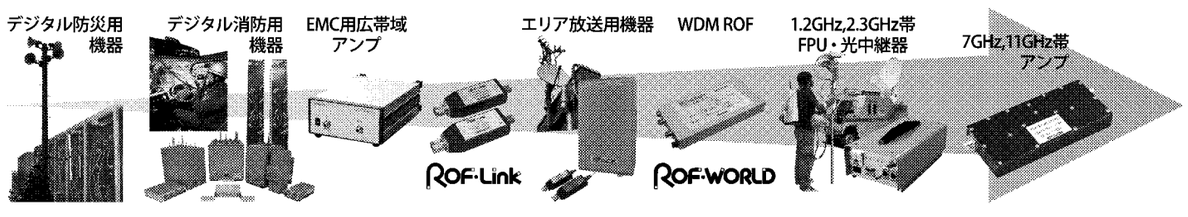


【主なサービスの内容】
●加工装置の提供
バックグラインダー・ダイサー・ソーター・検査設備・他をご使用頂けます。
●加工条件の選定・サポート
ワーク素材に合った加工条件をご提案・サポートします。
●その他
クリーンルーム（床面積：250m²、クラス500以下）完備
会議室を用意しておりますので打合せ・レポートの作成にご使用頂けます。
建屋はセキュリティーシステムを完備しています。

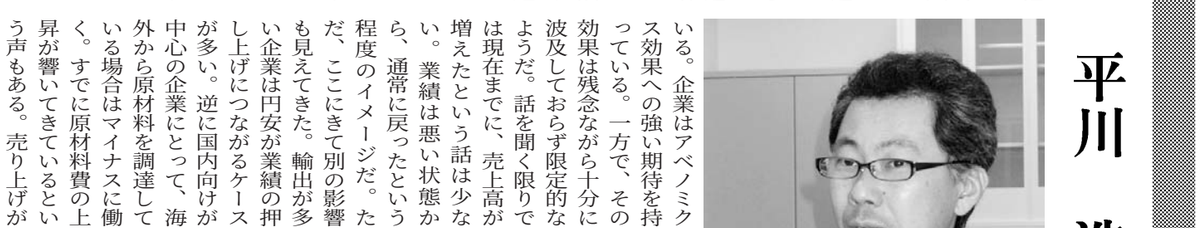
URL：http://www.c-suntec.co.jp/
〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-1-10
TEL042-557-7744㈹　FAX042-557-7745
SUNTEC
株式会社サンテック
ISO9001、14001認証取得

STACK は創造へのあくなき挑戦を続けています

STACK は高周波と光の伝送機器において部品からシステムに至る国内唯一の専門メーカーです。



STACK は国内唯一のオシロスコープ用プローブメーカーです。



スタック電子株式会社
本社工場：〒196-8501 東京都昭島市武蔵野3-9-18
TEL：042(544)6211㈹　FAX：042(544)6246㈹
URL：http://www.stack-elec.co.jp

営業品目
●高周波同軸コネクタ　●高周波同軸ケーブルアッセンブリー
●高周波同軸コンポーネンツ：高周波フィルタ／アンプ／同軸分配器／同軸切換器／方向性結合器／同軸減衰器／終端器／インピーダンス変換器
●オプチカルコンポーネンツ　●オシロスコープ用電圧プローブ

地域連携で成長後押し

多摩エリアの産業活性化を支えるのが、多くの連携組織だ。その中でも東京都中小企業振興公社多摩支社は、多摩地域の中小企業をサポートする支援機関のリーダー的存在。そこで、４月に多摩支社長に就任した平川浩一氏に多摩エリアの現状や抱負を聞いた。

東京都中小企業振興公社 多摩支社 支社長 平川 浩一氏

企業の海外進出や柱事業の育成支援

―多摩支社長就任の抱負を聞かせてください。

「公社には城東（東京都葛飾区）、城南（同大田区）にも支社があるが、多摩エリアに携わるのは初めて。助成金関連や知財センターに在籍していた経験を生かして多摩地域の企業を支援していきたい。これまでと違う形で企業との接点を増やせることを楽しみにしている。最初の接点となる専門家による無料相談制度『総合相談』は受け身の部分で、経営の課題解決のために来てもらえるようにしたい。一方で取引振興の分野では逆に職員が企業を訪問する。現状課題の抽出や助言、担当セクションにつなげて専門家を派遣する」

―ここ数年、産業界は厳しい経営環境が続いてきました。多摩エリアへの影響をどう見ていますか。

「２００８年秋のリーマン・ショック、そして11年の東日本大震災で、国内企業は大きなダメージを受けた。さらにここにきてそれまでの円高進行から、円安基調へ転じている。為替変動が極端に振れて中小企業を取り巻く事業環境が激変している。企業はアベノミクス効果への強い期待を持っている。一方で、その効果は残念ながら十分に波及しておらず限定的なようだ。話を聞く限りでは現在までに、売上高が増えたという話は少ない。業績は悪い状態から、通常に戻ったという程度のイメージだ。ただ、ここにきて別の影響も見えてきた。輸出が多い企業は円安が業績の押し上げにつながるケースが多い。逆に国内向けが中心の企業にとって、海外から原材料を調達している場合はマイナスに働く。すでに原材料費の上昇が響いてきているという声もある。売り上げが上がる前に原材料費高騰への影響が出てきているようだ。この辺りは引き続き注意深く見ていかなくてはならない」

―多摩エリアの産業・経済の特色や強みをどのように見ていますか。

「中小企業とはいえ、ある程度の規模がある企業が多いように感じている。データで見ても5人以下の零細企業よりも、10―15人という中堅が多い。優れた技術を持っているからこそ、中堅どころが存在しているのではないか。また、中堅の核となる企業が区部に比べて多いことも特徴だ。これらの企業にとって、どのようなニーズがあり産業施策に反映させられるかに知恵を絞りたい。例えば近年、中小企業にも海外進出意欲が高まっている。公社内にも国際化支援室を設けており、今後も販路拡大や生産移管などの支援を充実していく必要がある」

―多摩エリアの景況感や、最近の地元企業の意識の変化をどう感じていますか。

「景況感だけで言えば差はそれほどないように思える。アベノミクス効果への期待はエリアに関係なく感じる。多摩エリアで感じるのは、アベノミクスによる景気浮揚をきっかけに、新たな柱事業を育成しようとする動きだ。リーマン・ショック後に景気低迷が長期化し、我慢が続く企業も多い。多摩の企業はこれをきっかけに、方向転換や新しい事業の柱を作ろうという意識がある。企業同士による産産連携、産学連携と、これまで培った技術ノウハウから派生する〝気づき〟を提供したい。具体的な取り組みでは中小企業と大企業を結びつける支援事業や交流会を開き、一定の成果が上がっている。今後も継続していきたい」

―多摩エリアの持つ強みをどう生かしていきますか。

「多摩エリアには中小企業との連携に前向きな研究機関、大学、大企業が多く拠点を構えている。広域ではあるが技術者、ノウハウを持つ教授が多く、それだけビジネスが育つ潜在的な基盤がある。一方で、これから団塊の世代の技術者、研究者が退職の時期を迎える。こうした方々が次のステップに進める仕組みが有効だと考えている。せっかくこれまで培ったノウハウを、年齢だけで捨ててしまうのはもったいない話だ。自身で事業を立ち上げる、あるいは支援機関や金融機関のコーディネーターとして地元企業にアドバイスできる人材の育成など、さまざまなやり方が考えられる。豊富な人材資源を持つ多摩地域は、今後も産業発展が期待できるはずだ」

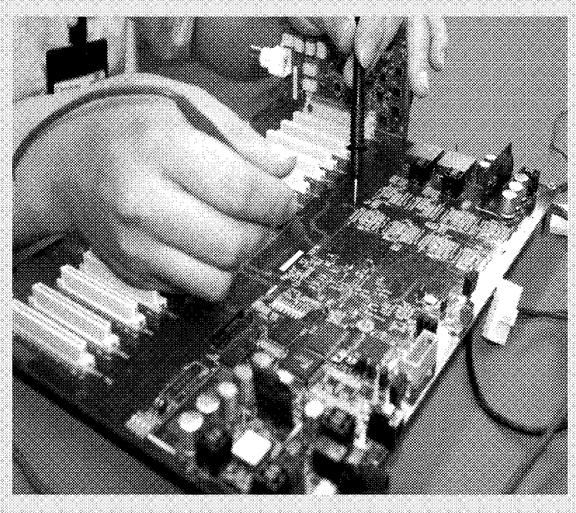
東京都中小企業振興公社多摩支社が支援する異業種交流グループ

グループ名／設立・活動開始時期／会員企業数	グループの狙い	2012年度の活動内容
ACE(エース)21 1990年度 10社	共同受注促進活動を中心に新製品・新技術の研究・開発、情報交換などに取り組む。93年度にはグループ有志による新製品開発に対して、東京都中小企業振興基金（融合化助成事業）の助成金の交付を受ける。毎月定例会、情報委員会を行うほか、受注促進委員会、各種研究グループに分かれての活動も活発に行っている。	研修会・講演会7回 講師：専門家等（コンサルタント、会員企業経営者、調査機関等スタッフ他）。テーマは新規顧客獲得のためのHP活用法、企業経営、事業承継、商談の進め方、危ない会社の見分け方、被災地企業の状況及び支援等について。また、工場見学（会員企業及び大手企業）、産業技術研究センター見学を開催。
ACT(アクト)30 1997年度 20社	個々の技（技術）と術（技能）を持つ多摩地区の企業が積極的に交流をはかり、毎月勉強会などを開催。新たな企業協力による組織体となり、小規模ながら各々のコア・コンピタンスの融合による新ビジネスや集合体によるトータルアウトソーシングとしての受注活動を展開するのが狙い。	Facebookの活用に関する講習会、JAXA相模原キャンパス研修視察、産業技術研究センター見学。
WEB(ウェブ)多摩21 2001年度 8社	「WEB」は、ネットワークの意味を持つ。ITの活用と同時にグループ内でのネットワークを確立し、各メンバーが深い交流を持てるよう環境づくりを行っている。経営に役立つIT活用をめざし、勉強会など積極的に活動する。	Facebookの活用に関する講習会（5回）、大手メーカー工場見学会。

Acoustic Solution Partner
音がある　フォスターがいる
FOSTER

フォスター電機株式会社　http://www.foster.co.jp/

京西テクノスはトータルサービスカンパニーです。



京西テクノス株式会社
本社：東京都多摩市愛宕4-25-2
電話：042-303-0888(代表)
KYOSAI
http://www.kyosaitec.co.jp
当社ホームページでは様々な修理・再設計案件をご紹介をしています。是非ご覧ください。

あらゆるメーカーのあらゆる製品をサービス・サポートしています。

基板・装置修理
基板・装置再設計
サービス業務受託

修理・再設計実績
・原子力発電所／分析装置
・アミューズメントパーク／安全装置
・印刷メーカー／アルミ蒸着装置
・医療機器メーカー／ディスコン対応
・自動車部品メーカー　／DCモーター制御基板
※国内外問わず対応致します。